

2年生から第2外国語

1973年創立。普通科のみだったが、92年に国際教養科を新設。1月29日現在の生徒数は普通科582人、国際教養科230人で、全校生徒の62%を女子が占める。

国際教養科では2年生から第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語を学ぶ。4月から韓国・朝鮮語が加わる。普通科では、数学で少人数授業を展開する。両科では、英語が母語のアメリカ人とオーストラリア人の講師による授業がある。2014年度はスペイン、ドイツなどから7人の留学生が訪れた。

また、特定の科目や希望の進路に合わせた分野別講習を、早朝、放課後、土曜日や長期休業中に開いている。14年春の卒業生の進路は大学47%、短大14%、専門学校29%、公務員などの就職5%などとなっている。

校章は「高」の文字を挟むように「長」野を配し、篆書体を元にデザインされている。



府立長野高校

通じる思い 笑顔大切



15日の報告会に向け演劇の練習をするユネスコ同好会のメンバー。昨年11月の世界大会を経て意識が変わったことを紹介したいという。河内長野市原町2丁目の府立長野高校

ユネスコの理念 実践へ活動

まな
びバ!
教育/2015

第2次大戦で荒廃した教育、科学、文化の復興を目的に1946年に設立されたユネスコ(国連教育科学文化機関)。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という憲章の理念を実践する「ユネスコスクール」に府立長野高校は2009年に認定された。生徒有志によるユネスコ同好会も発足し、今年度は16人が活動した。

昨年11月、岡山市でユネスコスクール世界大会が開かれた。主要会議の一つ、高校生フォーラムには32カ国から約160人が参加し、日本の高校生約600人が運営スタッフをした。ユネスコ同好会からは13人が加わり、海外の学生をホテルに送迎したり、会場での案内をしたりした。

新年度から同好会の会長になる寺戸映輝代さん(1年)

(鈴木洋和)

長野高校も参加する予定で、4日にあった活動では、写真などを組み合わせたパソコン画面を教室前面のスクリーンに映し出し、プレゼンテーションの練習をした。現副会長の松野千広さん(2年)らが2分半の持ち時間で約10の活動を紹介。その後、反省会をし、意見を言い合った。

発表では、演劇でも表現する。重い荷物を持ったお年寄りの横を素通りする場合と、手伝う場合の二つのケースなどを演じ、良い例を実践してほしい、と呼びかける。松野さんは「戦争や児童労働など、世界にある大きな問題の前では、私たちの出来ることは限られるが、すべての問題はつながっていると思う。少しでも笑顔が増えるように、一人でも多くの人が出来ることをする。その大切さを伝えたい」と思いを語った。

3部合同の演奏会を初開催

吹奏楽部、フォークソング部、和太鼓部は28日、市健康づくり推進委員会主催のイベントに参加する。3部合同による校外での演奏会は今回が初めてだという。

吹奏楽部とフォークソング部はコラボ演奏を披露する。「いつも曲の意味を考えながら演奏しているので、歌が入るコラボはやりやすい」と吹奏楽部の前川葉奈さん(2年)。フォークソング部の兵頭虹花さん(2年)も「普段は校内で演奏しており、外に出ると見知らぬ人からも評価してもらえるのでうれしい」と笑顔。和太鼓部の三宅聖人君



(1年)は「張りつめた演奏で緊張感を出したい」と意気込む。クラリネットが担当の石井愛弓さん(2年)は「系統が違う各部の魅力が伝わると良いな」

(河内長野市)

西谷那景君(1年) た」と振り返る。